

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ルームズ藤崎		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 15 日		～ 2025年 2月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	2025年 2月 5 日		～ 2025年 3月 7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 31日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	低学年と高学年を分けて活動をおこなっている	・低学年は主に運動や工作、高学年は主に生活スキルなどの自立活動を取り入れ、また固定化しないよう週ごとに項目を変えて取り組んでいる	・プログラムの充実や、子どもの個々の発達課題や年齢に応じたアプローチをおこないたい
2	活動支援プログラムは、毎月事業所スタッフで話し合いの場を設け、検討し構成している	・個々の強みや専門性を活かし、担当や役割分担をおこなっている ・様々な知識やスキルを持つ支援員が連携している ・改善案を出し合える環境である	・年齢や成長過程、特性に応じて、専門的支援を充実させ、さらに個別のフォローを意識した支援活動ができるよう努めたい
3	活動プログラムの充実	音楽やアート、運動、食育など、支援員個々の専門的知識やスキルを活かした支援を行っている	個別支援計画の5領域を踏まえた上で、より細やかなところまで工夫できるように努力する

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者や地域交流の場の不足	・音楽活動や創作活動など毎月取り組んでいるが、それらを発表する場を設けることができていない	・引き続き年2回保護者会を実施を継続するとともに、子どもたちの成長を披露する参観も兼ねた時間を作れるように計画したい ・保護者の方の要望などを伺いながら、必要とされている地域交流の場を検討していきたい
2	定期的な保護者面談の実施	・担当者会議や、連絡帳・連絡ツールでの申し送りが主となっている ・対応しているつもりにならないように困り事などをその都度、受け入れられる事が必要	・さらに充実を図るために、子ども一人一人の発達や行動をアセスメントする力を高めるとともに、ケースの検討や研修への参加をし、支援の質を向上していきたい
3	マニュアル、活動の様子などの発信が不十分	・ホームページ、マニュアルをまとめた冊子などでの適宜情報発信しているが、一方的になってしまっており、保護者に十分に届いていない	・定期的に意見を募るなど、保護者が関心を持てるような取り組みを検討する ・当日の活動内容を適宜発信していく方法については、利用者への支援と発信のための時間確保とのバランスを考慮に入れた上で、効率的なツール導入を検討していきたい